

ある。

(1) 針先が少しの力で曲がってしまうことがあり測定のためにアームの駆動部やスライダーを調節しなければ、針先が液面から離れてしまうことがある。

(2) 試料皿内の砂糖溶液の深さが浅いと、氷晶が成長して底まで達することがあり、そのとき氷晶の上面が液面より高く空中にせり上り、その表面に露がおりて液体化して針による検出ができなくなる。

(3) 逆に砂糖溶液の深さが深いと、試料皿の回転に伴って液面がゆれ動き、針先の走査が不正確になる。

(4) 液面のゆれ動きを防ぐために溶液内に枠に張って広げたガーゼを沈めてみたら、この目的は達せられたが、溶液の冷却が悪くなったようで、氷晶の発生が少なくなった。

これらの点に対する対策としては、(1)については、針の材質を吟味し、適当な加工を行なうこと、(2)～(4)については、砂糖溶液の濃度を上げ、温度を下げ粘性を増したり、また、試料皿を回転させる方法から、皿を固定して針の方を動かす方法に換えることなど

によって解決できるであろう。また、ゾンデとするには冷却器が重すぎるので、上空での低い気温を利用する様な工夫が必要となろう。

## 6. むすび

この研究は気象大学校で昭和48年度卒業研究として行なわれたものである。ご指導いただいた、駒林誠教授に深く感謝致します。また、実験装置の製作について、便宜を計っていただいた、木下肇助教授はじめ、いろいろとご指導いただいた先生方に感謝します。

## 文 献

- Bigg, E.K. 1957: A new technique for ice-forming nuclei in aerosols. *Tellus* **3**, 394-400.  
Bowen, E.G. 1953: The influence of meteoritic dust on rainfall. *Aust. J. Phys.* **6**, 490-497.  
Bowen, E.G. 1956: The relation between rainfall and meteor showers. *J. Meteor.* **13**, 142-151.  
Mason, B.J. 1971: *The Physics of Cloud* (2nd ed.). Oxford University Press, 174-

## 第18期 第2回 理事会議事録

日 時 昭和49年11月6日(水) 19.00~20.45

場 所 福岡市 はかた会館

出席者 磯野, 小平, 浅井, 大井, 奥田, 神山, 河村,  
北川, 二宮, 丸山, 川村, 孫野, 田中, 伊藤,  
中島, 窪田, 山元, 坂上, 沢田, 各理事  
藤田監事

臨席者 長田九州支部常任理事

### 報 告

〔庶 務〕

1. 気象庁から、気象百年史の委託販売について申し入れがあり細部について打合せ中
2. 気象庁から100年記念論文集の発行依頼があったが財政面でリスクをおかさない範囲で実施できるよう検討している。

〔浅井理事〕 GARP 2nd Objective について

7月末に JOC 主催の国際集会有り、人間環境、気候変動の問題を GARP の 2nd Objective と考え、どの点を推進していくべきか検討が行なわれた。

〔理 事 長〕 台風の人工制御に関する Informal Meeting を本日開催した経過報告があった。

### 議 題

#### 1. 会費値上げについて

会計理事より資料により物価上昇率15%、20%、25%、の場合について、0%、7%、12%、の値上げが必要なことの説明があった。

多くの意見が出されたが主なるものは、

- (1) 事業計画の縮少は考えないか。
- (2) 会員の減少を生じないようスムーズに行なう必要がある、2年連続はさけた方がよい。
- (3) 事情をよく理解できるようなPRが必要である。
- (4) 会員にアンケートをとったらどうか。更に常任理事会で検討する。

#### 2. ノート担当委員の追加

青木忠生(東北大, 理学部) 会員追加を承認

#### 3. 東レ科学技術助成候補者推薦について

杉村行男(気研地球化学研究部)の「大気-海洋における炭酸ガスの交換について」を推薦する。

承認事項 新入会員前田実ほか7名の入会承認